

平成24年度第1回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成24年 6月19日(火) 中央合同庁舎第3号館 国土交通省航空局 A・B会議室	
委員	委員長 浅野 正一郎 (国立情報学研究所教授) 委員 廣渡 鉄 (廣渡法律事務所 弁護士) 委員 高田 和幸 (東京電機大学理工学部准教授)	
審議対象期間	平成23年10月 1日～平成24年 3月31日	
工事	抽出案件	1件
	一般競争	1件
	公募型指名競争	0件 (対象案件なし)
	通常指名競争	0件 (対象案件なし)
	随意契約	0件 (対象案件なし)
建設コンサルタント 業務等	1件	
役務及び物品	1件	
地方官署 工事・一般競争	0件	
合計	3件	
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	なし	

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<p>[工事] 一般競争（政府調達に関する協定適用外） 【航空機火災消火訓練設備手動弁設置工事】</p> <p>○過去15年間で国土交通省の同種工事は何件か。</p> <p>○工事の難易度は高いのか。</p> <p>○結果として、1者しか応札者がなかったのはどう分析しているのか。</p>	<p>○平成19年度に同センターで工事实績がある。この1件。但し、国交省以外ではたくさん実績はある。</p> <p>○ガスを止めてバルブをつける工事なので難易度が高いとは思わない。</p> <p>○現実に参加できる社は複数社あった。不参加の相手方に一部ヒアリングをしたところ、不慣れな工事だとか、技術者が確保できないとか、公告を見逃したという意見があった。結果として1社応札となったと思われる。</p>
<p>[建設コンサルタント業務等] 一般競争 【管制技術等の進展に伴う航空交通管制部における将来の業務形態等に関する調査】</p> <p>○将来を見据えた管制システムの設計業務を請け負っている社が、1社応札で落札しているが、そもそも競争性が働いてないのではないか。</p> <p>○業務量に比して調査期間は適切か。短すぎないか。</p>	<p>○結果として一者応札となったが、本件は同社以外に請け負えないものとは考えていない。航空管制のシステム設計とは別の業務。事実、複数の者が入札説明書を取りに来ていたが、相手方の都合により1社応札となったものと思われる。</p> <p>○年度末に近いこともあり、比較的厳しい期間ではあるが、できない期間ではないと考えている。</p>

意見・質問	回 答
<p>[役務及び物品] 一般競争 【SSR-09A型二次監視レーダー装置 3式の製造】</p> <p>○技術的に2社が製造可能で、競争しているものの航空路用レーダーは1社の受注が続いている状況にある。コスト高でないのか。</p> <p>○複数年契約と単年度契約とは何が違うのか。</p>	<p>○航空路用レーダーを1社の受注が続いているのは競争の結果である。コスト面では2社から見積もりをとって安価な方を採用している。</p> <p>○複数年契約しなければならないものは、国会にて予算上審議頂いているもの。原則は単年度契約である。</p>